

2020 年 1 月 10 日

マイデータ・インテリジェンス、Arm Treasure Data、Scalar パーソナルデータの取得・利用・第三者提供に おける同意管理サービスで協業

株式会社マイデータ・インテリジェンス（本社：東京都港区、以下 MDI）、英 Arm の日本法人であるトレジャーデータ株式会社（東京都千代田区、以下 Arm Treasure Data）、株式会社 Scalar（東京都新宿区、以下 Scalar）の 3 社は、生活者が企業の HP 訪問やサービスを受ける際に明示する規約等に対する許諾を管理するサービスとして、MDI が提供する同意管理プラットフォーム（Consent Management Platform、以下 CMP^{*1}）をベースに、Arm Treasure Data のカスタマーデータプラットフォームおよび Scalar の分散型台帳ソフトウェアを組み合わせた同意管理サービスを 2020 年 3 月から提供を開始します。

昨今、社会的に個人情報の取り扱いに高い倫理観や透明性が求められるようになり、パーソナルデータの取り扱いは、企業活動にとって大きなリスクとなりつつあります。パーソナルデータに関するリスクマネジメントは、単にマーケティング上の課題ではなく、いまや重要な経営課題といえます。

さらに、法律、制度面では、個人情報保護委員会が「個人情報保護法 いわゆる 3 年ごと見直し 制度改正大綱」を公表しました。ウェブの閲覧履歴が記録される「Cookie（クッキー）」と呼ばれるデータや、オンライン上での各種手続きや資料請求、アンケート、問い合わせなどを行う際の個人データについて、それらデータの所有者である個人に、データを收受する際のデータ内容、利用目的、データの保有方法などを明示したうえで同意を取ることが企業にとって重要になります。また、公正取引委員会からもプラットフォーム運用会社や企業による、優越的な地位の濫用につながるデータ活用を厳しく指導する方針が打ち出されました。

一方、技術面に目を向けると、デジタル広告においては、アドテクノロジー事業者が今まで利用してきた Cookie 等は、改正個人情報保護法の観点のみならず、米アップル社が 2019 年 9 月から実装した ITP2.3 に代表されるように、ウェブサイトをもたぐアクセスを追跡するための Cookie が削除対象となり使用できなくなるなど、ブラウザで活用される技術面からも変革期を迎えています。今後企業のデータ活用における 1st パーティーデータの重要性が 3rd パーティーデータと比べて増してくると思われれます。

そこで MDI・Arm Treasure Data・Scalar の 3 社は、Cookie をはじめとするパーソナルデータについて活用方法をあらためて見直すタイミングであることを共通認識とし、企業向けの CMP ソリューションを共同で提供することで合意しました。

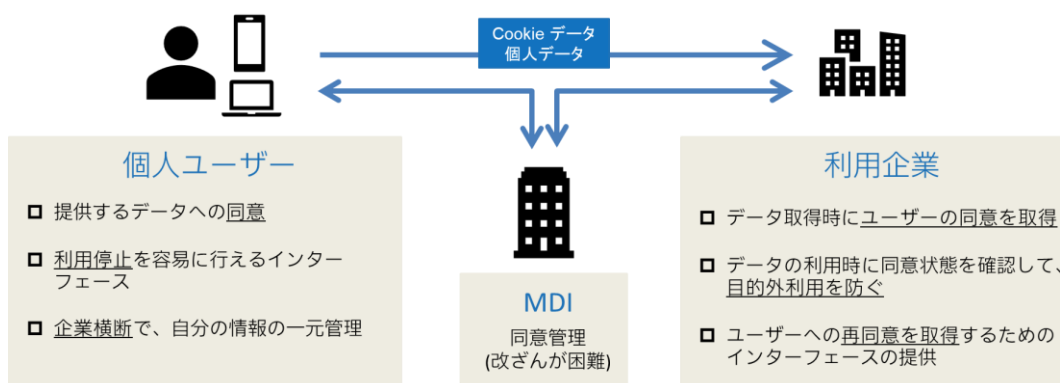
なお、MDI では、他のソリューション提供企業との連携を拡大し、生活者のプライバシー保護を重視した企業活動をサポートしてまいります。

また、Cookie 等に対する同意管理につきましては、同社が提供する CMP と、株式会社電通が提供する People Driven DMP とも連携することを検討しております。

【同意管理プラットフォーム（Consent Management Platform）概要】

MDI の CMP は、パーソナルデータの利活用サポート事業を展開している同社が 2019 年から開始している情報銀行サービス「マイデータ・バンク MEY」の一部機能と、Scalar の高い改ざん検知性を備える「分散型台帳ソフトウェア Scalar DLT^{※2}」を組み合わせ、「同意文書および同意の管理」を行う仕組みを提供するものです。

さらに、Arm のカスタマーデータプラットフォーム「Arm Treasure Data CDP^{※3}」と連携することで、同意データを用いた広告やメール等マーケティング施策、各種分析、データ活用をシームレスに実現できます。



一般的な CMP でカバーしている Cookie 利用に対する同意の取得だけでなく、以下のような機能を提供します。

- (1) 同意文書（利用規約、プライバシーポリシーなど）の管理
 - 同意文書の登録、同意文書の改訂(再同意の要・不要に対応)
 - 「収集データ項目」「利用目的」「利用期限」「第三者提供先」を同意文書へ紐付け
- (2) 収集されたデータへの同意文書情報の付与
- (3) 生活者による、自身が同意している同意文書の参照と撤回

これらの機能を利用することにより、Cookie 利用に対する同意の取得だけでなく、サイト来訪者のアクセス履歴や、生活者のパーソナルデータの利活用を、個人情報保護法をはじめとする法令に準拠しながら、企業のブランド価値向上を支援いたします。

※1: Consent Management Platform (CMP)

CMP とは、生活者に対し、取得データの取り扱いについて提示し、同意を得たもののみを利活用するための同意管理サービスです。個人は、自身のデータがどの企業に何の目的で収集されているか一元管理することができ、その停止などができるサービスです。

※2: Scalar DLT :

分散データベースソフトウェアである Scalar DB と分散型台帳ソフトウェアである Scalar DL から構成され、電子署名が付与されたスマートコントラクトを分散トランザクションの形式で実行し、その実行結果を複数の独立したコンポーネントで連鎖的に管理することにより、高い耐改ざん性を有しつつ、従来のブロックチェーンでは実現が困難であった高いスケラビリティ、強い一貫性、確定性を実現します。

※3: Arm Treasure Data CDP

Arm Treasure Data CDP（カスタマーデータプラットフォーム）は、オンライン広告配信やマーケティング、CRM（顧客管理システム）などの領域において、顧客一人ひとりのデジタル上の行動ログデータや属性データなどのカスタマーデータを統合することで、パーソナライズを軸とした顧客ロイヤリティの向上やデジタルによるビジネス変革を可能とするプラットフォームです。

●株式会社マイデータ・インテリジェンス

2018年9月に設立。生活者が自身のデータをコントロールし、パーソナルデータの利活用を可能とするデータ流通エコシステム構築を目指し、2019年7月より情報銀行（情報信託機能）サービス、マイデータ・バンク「MEY（ミー）」を提供開始。生活者と企業、社会の間により強固な信頼関係が必要されるなかで、コンプライアンス、倫理、消費者保護等

を最重要視した、高度なデータ流通社会の一翼を担ってまいります。

URL: <https://www.mydata-intelligence.co.jp/>

●Arm Treasure Data

Arm Treasure Data が提供するカスタマーデータプラットフォーム（CDP）は、顧客一人ひとりのデジタル上およびオフラインでの行動からもたらされるデータ、IoT デバイスが生成するデータなどを統合することで、優れたカスタマーエクスペリエンスの提供やデジタルによるビジネス変革を可能とするプラットフォームです。Arm Treasure Data は、Arm の IoT サービスグループに属するデータ事業部門であり、世界各地に Fortune 500 を含む 400 社以上の顧客企業を有しています。

●株式会社 Scalar

2017 年 12 月に設立。スケーラビリティと耐改ざん性を備えた分散型台帳ソフトウェア Scalar DLT の研究開発を行うデータベースベンダー。また、パーソナルデータの取得・利用・第三者提供における同意管理ミドルウェア等の開発を行う。「The World's Reliable Database」を Vision として掲げ、高い信頼性を有する独自のデータベースを活用し、企業の DX を推進している。

URL: <https://scalar-labs.com/>

GitHub: <https://github.com/scalar-labs>

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社 マイデータ・インテリジェンス

戸田牧子、市丸雅啓

TEL: 03-6257-8550

E-mail: info@mydata-intelligence.co.jp

アーム株式会社（Arm Treasure Data 広報窓口）

坂元章彦

TEL: 045-670-2811

E-mail: pr-japan@arm.com

株式会社 Scalar

金子雅人

TEL: 070-4806-4277 (代表電話)

E-mail: press@scalar-labs.com